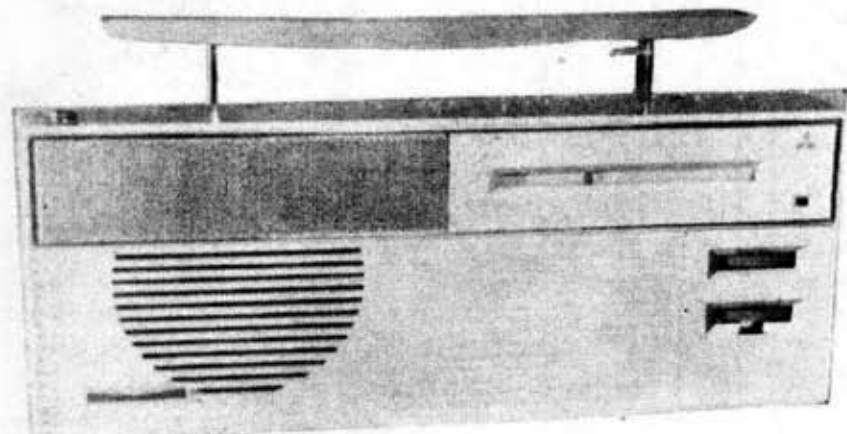


# 三菱 8石 2 Band TR-803 形



## 回路構成

8石、2バンド、2ダイオードで、  
局部発振回路は他励を採用。

1本のダイオードは遅延AVCに使  
ている。

中波はフェライト・コアを用いて  
いるが、短波(3.9~12 Mc)はそれ  
を使用していない。

スピーカは10センチ円形で大き  
くしてある。音質切換えはない。電源は  
単一4個の6V。

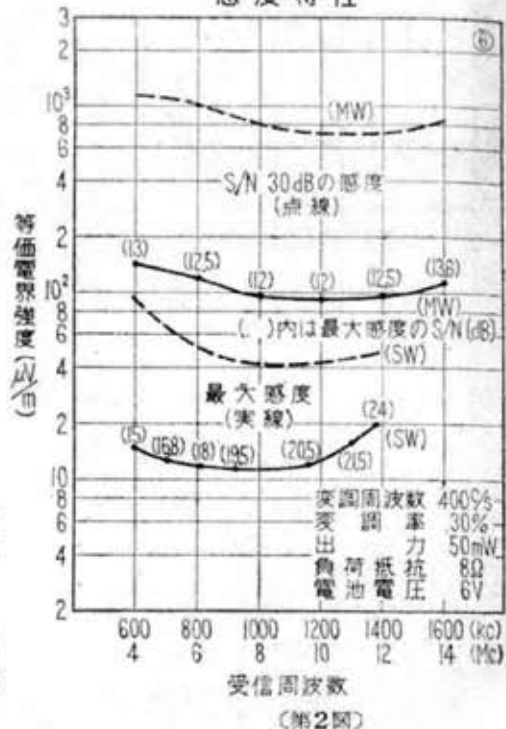
## 測定結果

感度特性は、 $S/N=30\text{ dB}$  のとき  
の中波で  $58\text{ dB}$  前後とよくなつて  
いるが、他社のと比較する場合は、  
本機のみ中波専用のフェライト・コ  
アである点に注意されたい。感度差  
も  $4\text{ dB}$  前後だから良好である。

短波は、フェライト・コアを用い  
てないので、アンテナ入力電圧をもつ  
て示してあるが、 $S/N=30\text{ dB}$  でもよ  
い値を出している。

出力は無ひずみで  $640\text{ mW}$  と極め

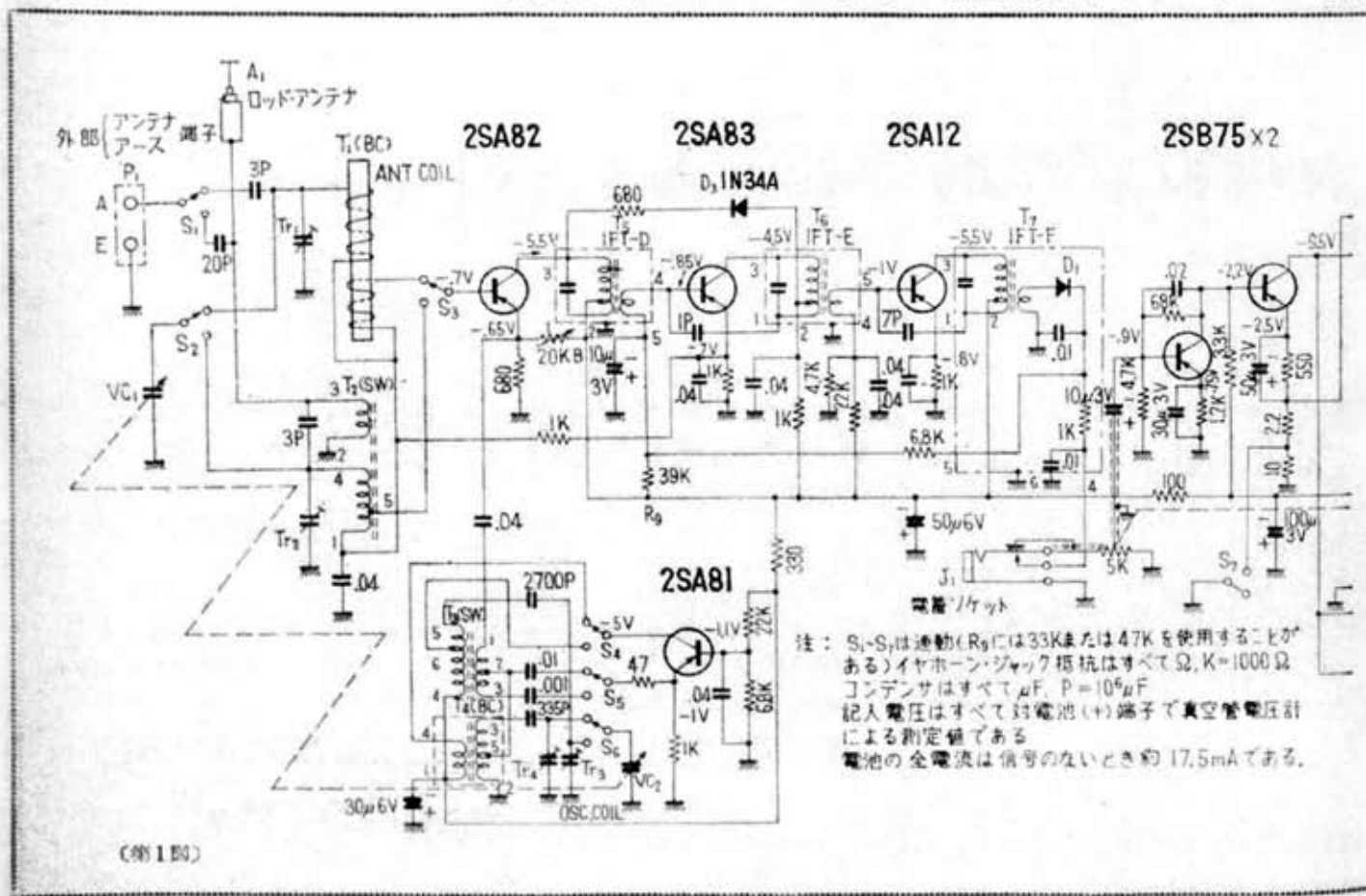
## 感度特性



て大きい。

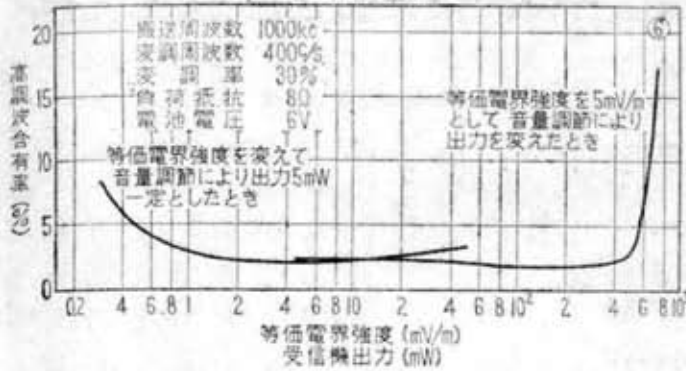
妨害は、イメージと中間周波とも、  
各バンドでふつうである。

選択度は、左右わずかに不釣合だが、  
通過帯域幅は  $1000\text{ kc}$  で  $9.1\text{ kc}$  と大



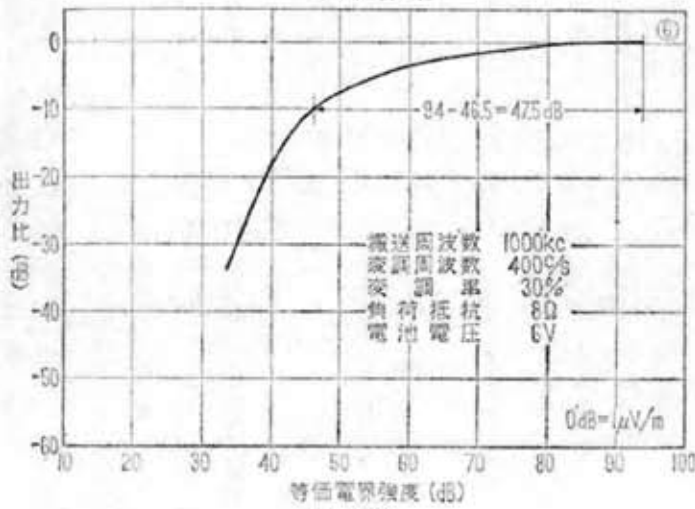
現金正価 9,650 円

ひずみ特性



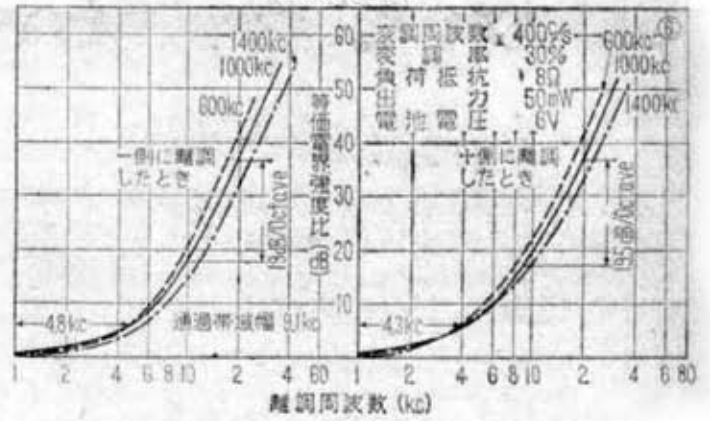
(第3図)

AVC特性



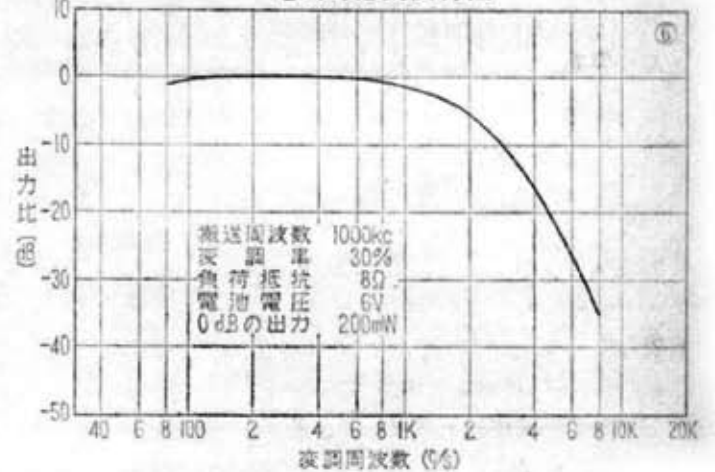
(第4図)

選択度特性



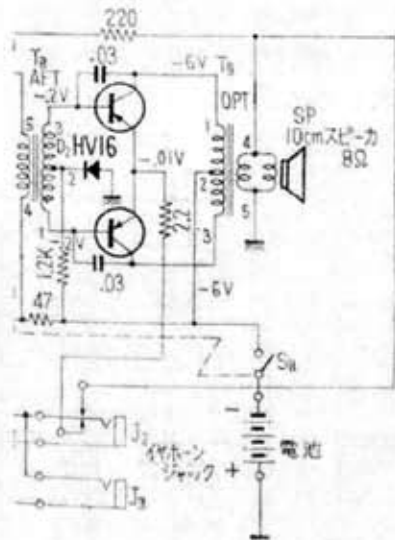
(第5図)

電氣的忠実度特性



(第6図)

2SB156x2



きい。

ひずみは、中信号を入れたときで、2%くらい(出力 50 mW)だからよい。

電氣的忠実度は、低音強調のようなカーブになっている。とくに音質補償のないのは前述のとおりだが、こうした設計も一つのアイデアであろう。

AVC特性は 47.5 dB あり、十分である。

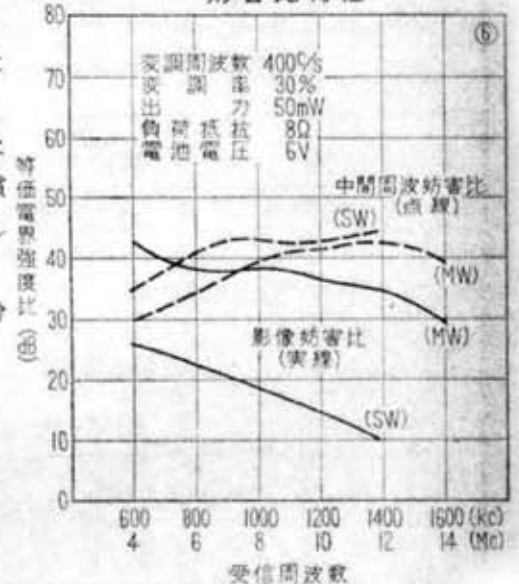
その他

外観は 2 トーンカラーで仕上げ、横長タイプを採用している。そして、ホーム形とはいえ、携帯に便利のようにキャビネット上部に取手をつけてある。

同調ツマミと電源スイッチ兼ポリウムのツマミとが上下につき、右側面にバンド切換えを配している。

外形寸法 幅 300×高さ 155×奥行 76 (mm)。

妨害比特性



(第7図)

